

平成 27 年第 1 1 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 8 月 24 日（月）

午後 4 時 00 分～午後 4 時 45 分

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 間島委員 齋藤委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 日下学校給食センター所長 畑島指導室長

高田生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キャンパス推進室
長 飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

森田委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 33 号	招致外国青年就業規則の一部改正の件
議案第 34 号	平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果公表の件
議案第 35 号	平成 27 年度第 3 回市議会定例会補正案件提出の件
その他 1	アルテピアッツァ美唄の美術館化について

概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成27年第11回美唄市教育委員会議を開会いたします。順序第1 会議録署名委員につきましては、森田委員をお願いします。

次、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 はじめに、説明員の欠席についてご報告させていただきます。学務課主幹の西田が公務のため本日欠席となっております。それでは、資料に基づきまして説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●高橋委員長 ただいま、教育長報告、行事報告・行事予定について事務局から説明がありました。何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、次の議案に移ります。議案第33号 招致外国青年就業規則の一部改正の件を議題といたします。

●阿部学務課長 それでは、議案第33号 招致外国青年就業規則の一部改正の件について、ご説明申し上げます。本件は、外国青年の英語助手ALTの夏季休暇については、これまでは制度化されていなかったこともあって、市の職員同様、特別休暇に夏季休暇を加えようとするものでございます。新旧対照表をご覧ください。第14条の特別休暇に第10号として、新たに「夏季休暇、第4条に定める勤務期間中の7月から9月までの期間における週休日、休日及び代休日を除いて原則として連続する3日の範囲内の期間」として、加えようとするものでございます。第14条第2項の改正については、第10号の夏季休暇を有給休暇とするものでございます。施行期日につきましては、公布の日、本日教育委員会議の日を施行期日と考えております。

●高橋委員長 ただいまの、第33号議案につきまして、何か質問はございますでしょうか。なければ、議案33号 招致外国青年就業規則の一部改正の件につきましては原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第34号 平成27年度全国学力・学習状況調査結果公表の件につい

て議題とします。

●畑島指導室長 議案第34号 平成27年度全国学力・学習状況調査結果の公表についてご説明申し上げます。この内容につきましては、平成27年8月3日付の文書に基づくものでございまして、詳細につきましては、本日の午前中、空知教育局教育支援課長の針ヶ谷課長が来庁いたしまして、併せて説明を頂いているところです。内容については、1から6に分けて掲載しておりますが、その中で、いくつかあげながら、説明させていただきます。まず、1番目、平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の公表に係る照会文案についてですけれども、1点目の丸ですが、道教委といたしましては、今年度についても、結果公表については、昨年度同様、「北海道版調査結果報告書」に同意を得られた市町村の結果を掲載することとしております。なお、今年度の照会文書につきましては、2点の変更点がございまして、1点目としては、昨年度、教育委員会委員長あてとしていたものを、教育委員会の制度改正に伴い、教育委員会委員長と教育長の連名にしているということが1点目です。2点目は、前年度の通知につきましては、学力調査のみの内容だったのですが、今年度は、それに併せて、後日掲載が予定をされている全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表についても一部記載をしている。この2点が、昨年度の通知内容と変わっているところであります。2番目、全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方ですが、これは、1点目に集約をされておりました、丸の1つ目に集約をされていまして、基本的に昨年度から変更はないということであります。3番目、道教委による市町村名を明らかにした公表につきましては、丸の1つ目、基本フォーマットとして「教科別・領域別の数値を示すレーダーチャート」及び「分析と改善方策」は必ず掲載をする。2点目の丸として、昨年度の違いとして、今年度は、新たに理科が加わっている。3点目の丸としてレーダーチャートの中心点は基本70点としますが、市町村によって平均が70を下回る場合は、中心点を逆に乗り越えて、非常にいびつな形になるということから、そういう場合については、中心点を60などと配慮をするということになっております。その次ですけれども、市町村及び全道の領域別の数値そのものについては掲載しない。これは昨年と同様です。それから「分析」という欄が、レーダーチャートの下に続くわけですが、その内容については、後の6番とも関連するのですが、市町村教育委員会との連携を十分図って、教育委員会の望む形の内容が極力掲載されるように取り組みたいということであります。4番目の今後のスケジュールについてですけれども、2つ目の丸になりますが、10月2日、市町村別結果の掲載についての回答の締切となっております。5番目、結果の公表の同意についての検

討に際してなんですけども、あくまでも、道教委による市町村別の結果の公表につきましては、市町教委の同意に基づき行うものであるということ。同意・不同意については、個々の市町が主体的に判断していただくものであるということ。6番目の公表資料の作成については、先ほど申しましたが、内容については、市町村教委員会とも十分な連携を図るということです。市教委の対応としては、9月中旬に道教委の公表に関して同意するか否かを決定し、回答しなければなりません。それに先立って、先日行われた校長会議の中でも、その旨提案をし、校長会としても昨年同様、「同意する」という方向で進めてはいかがかということで回答を得ておりまして、教育委員会といたしましても、昨年度、美唄市教育委員会として判断をした方法で、今年度も取り進めてまいりたいと考えているところであります。以上です。

●高橋委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。なければ、議案第34号 平成27年度全国学力・学習状況調査結果公表の件については、当市の結果を「北海道版結果報告書」に掲載することについて、「同意する」としてよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、「同意する」ことで可決いたします。

次に、議案第35号 平成27年第3回市議会定例会補正案件提出の件を議題とします。

●高田生涯学習課長 議案第35号 平成27年第3回市議会定例会補正案件提出の件につきまして、ご説明いたします。本件は、温水プール整備事業に係る補正予算であります。温水プールの温水ボイラーが、経年劣化により破損し修繕も出来ないことから、ボイラー本体を更新するため、補正予算を9月の第3回市議会定例会に提出しようとするものでございます。この件につきましては、去る7月26日、温水ボイラーが異常停止したことから、専門業者により点検を行いました。その結果、燃焼室に水が入り込んだことが原因と判明いたしました。温水プールに採用しているボイラーはバコティンヒーターと呼ばれ、内部と外気とを完全に遮断し密閉し真空状態にすることで、わずかな加熱で水が蒸発する原理を応用した真空式給湯暖房温水器で、ヒーター内部は常に大気圧以下に制御されているため、膨張・爆発等の心配がないことから、ボイラー構造規格や、圧力容器構造規格の適用を受けず、免許や資格も不要という取扱いが容易で、効率性や耐久性にも優れたメリットがあります。今回、経年劣化により燃焼室に水が入り込んだことからボイラー内部の真空状態が確保できない状況となりまして、機能しなくなったものでございます。温水プールには、ボイラーが2基設置しておりまして、今回破損したものが、

プールの水を温める等の暖房系を、もう1基が、同じく暖房系とシャワー等の給湯系をまかなっていますが、既に、2基とも運用開始から10年以上経過しておりまして、対応年数とされる13年ないし、15年に達している状態でございます。現在、施設はボイラー1基で運営しているところではありますが、今後、館内の暖房などが必要となる時期を控え、開館が困難になりますことから、補正予算により実施するものでありまして、工事費用といたしましては、770万円を追加するものでございます。スケジュールにつきましては、現在のボイラー1基での施設運営は、10月いっぱいが限度と考えておりまして、工期が11月以降に及んだ場合は、施設を休館する必要がある、この場合、利用者に多大なご迷惑をおかけするほか、指定管理者には、営業上の不利益が生じる事態となります。このため、影響を最小限に抑えるため、定例会初日の9月2日に即決をお願いしたもので、臨時指名審査会を当日中に開催し、入札が9月11日、契約が16日、完成が11月下旬となります。この場合でも、完成が11月の末となりますことから、落札業者に対しましては、2週間以上、可能な限りの工期短縮の協力要請を行うと共に指定管理者におきましては、例年、2月に施設を2週間程度休館して行っている館内清掃点検を、今年度に限り、11月前半に前倒しして実施するよう要請依頼しておりまして、既に了解をいただいているところでございます。11月前半には、休館にいたしますものの、実質、利用者への影響はなくなると見込んでおります。清掃点検に伴う休館の市民周知につきましては、10月1日号の広報メロディーで行うほか、館内掲示やホームページでもお知らせすることを考えております。なお現在、稼働中のボイラーにつきましても同様の事態が生じうる状況と考えられますので、新年度において更新ための予算要求をしていく考えでございます。

●高橋委員長 ただいま説明がございましたが、皆さんの方で何か質問あるでしょうか。

●齋藤委員 今回更新するのは、1基ということですね。

●高田生涯学習課長 1基です。

●高橋委員長 他に何かご質問はありますか。なければ、議案第35号 平成27年第3回市議会定例会補正案件提出の件については、原案の通り可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい

●高橋委員長 それでは、原案の通り可決いたします。

次に、その他1 アルテピアッツァ美唄の美術館化について、説明をお願いします。

●高田生涯学習課長 その他１ アルテピアッツァ美唄の美術館化についてでございますが、今回、来年４月からの美術館化を目指しまして、条令改正のためのパブリックコメントの募集を考え、議員協議会に説明を行うための手続きであります企画調整会議にお諮りいたしました。が、まだ十分に市民理解を得られている状況ではないとのから、見送られる結果となりましたので、まずご報告をいたします。これまでの美術館化の経過等につきまして、ご説明をさせていただきますが、アルテは「芸術文化交流施設」といたしまして、これまで２０年以上に渡り、美唄市における芸術分化振興の拠点として、市内外の方々の交流等芸術文化の振興に寄与してまいりましたが、平成５年度から、当初４年間、最終的に６年間に延長されましたが、第１期整備計画、それと平成１４年から１０年間の第２期整備計画により、主に施設設備、環境などハード面を中心に設備を進め、平成１８年度からは指定管理制度も取り入れながら、ソフト面にも力を入れ実施してまいりました。先の文化庁長官表彰は、これまでの取り組みが、国からも高く評価されたものと考えてございます。博物館法に基づく美術館登録につきましても、将来の在り方も検討していく中で、運営上の課題として、平成１５年ごろから継続して、教育委員会内でも検討が続けられてまいりましたし、また、関係者からも機会あるごとに要望を頂いております。また、これらに関連した準備作業といたしまして、平成２５年度には、北海道の緊急雇用促進事業を活用した資料の電子化と整備事業により、協力を見据えた所有資料のリストアップを行ったところでありまして、その結果１２５点を確認し、現在、安田先生のチェックを受けているところであります。アルテを取り巻く環境といたしましては、今後、大きく変化することが予想されておりました。ここ数年来の東アジアや東南アジアからの来日観光客の増加の影響が本市にも現れはじめておりました。この９月から１０月にかけての約１か月間、初めて、台湾から、連日２５０人前後のツアーがアルテに入ることが決まっているほか、今後も、同様の入れ込みが見込まれること、また、数年後には、道道美唄・富良野線が全面開通を控えておりました。車の流れも大きく変わることが予想され、道道の沿線を立地するアルテにつきましても、立ち入る観光客の増加が見込まれているところです。このことから、アルテにつきましても、これらの変化に対応できる体制を整えることはもちろんですが、正式な登録美術館となることで、提供サービスの充実を図る等、また、対外的なアピール効果も狙うもので、特に海外からの旅行者には優れた美術館の人気の高いと聞いておりました。この登録美術館となることで、インターネット等の検索にかかる頻度が上がるなど、観光客認知が促進される効果も期待されていますので、登録に向けまして、今後も市民合意という部分の形成に向けて取り組

を進めてまいりたいと考えております。こちらの資料につきましては、企画調整会議の時に使用しました資料を、参考までに添付させていただいておりますが、基本的に、アルテピアッツアの美術館化に向けての課題といたしましては、新たに館長を置かなければならない。それから、学芸員を置かなければいけないということ。この学芸員につきましては、NPO法人の方で2名おりますので、その点についてはクリアができるということになります。あとは、その美術館にとっての資料の点数が、美術館として一定以上あるということ。これは具体的な件数が定められておりませんので、美唄市の場合は、現在125点確認されておりますけれど、出来れば150点くらいは揃えていきたいと考えているところです。あと、美術館としての教育活動ですとかソフト事業を行うことなどが必要となりますが、いずれも、現在、NPOで取り組んでいる内容にプラスアルファする形で、この件のクリアは可能だと考えております。一方、経費につきましては、当面の間は、美術館登録になることによって経費が膨らむということは、市の財政的にも、なかなか許されるところではありませぬので、基本的には、現在の指定管理費と修繕関係の管理費用とその予算編成の中で、対応してまいりたいと思ひまして、今後、人件費の部分で、例えば、待遇改善ですとか、そういう部分については、個々、協議しながら進めてまいりたいと考えております。今回、4月に向けての準備にストップがかかったのですが、早い時期に市民の合意が得られるような形で、準備を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

●高橋委員長 ただいまの説明に対して、何か、皆さんから質問あるでしょうか。

具体的には、いつ頃を目指しているというのはあるのでしょうか。

●高田生涯学習課長 当初、28年度4月からのスタートでしたので、市民合意という部分で、どのような手法で、PR・周知をしていけばいいのかというのがありますが、28年度中を含めまして、早い時期ということで申し上げたいと思ひます。

●齋藤委員 栄幼稚園が併設されてますが、そのことによる、美術館化に向けての弊害とかいうのは考えられないですか。

●高田生涯学習課 美術館になるので、現在もそうなのですが、色んな方が、その場所に入ってこられるという状況になりますし、一方、幼稚園の機能としましては、子供たちの安全確保ということから考えると、部外者は、極力シャットアウトできる環境というのが求められていると考えております。そこで、共存していくということには、なかなか難しい部分もあるのですが、これまで20年間共存してきたという実績を踏まえまして、上手に幼稚園の機能と美術館という安全の人が集ま

る機能と相反するものでありながら、うまく調和して運営できないかということも含めて、検討していく必要があると考えています。

●森田委員 聞き漏らしてしまったのですが、ストップがかかった理由をもう一度簡単にお聞きしてよろしいですか。

●高田生涯学習課 まず、美術館化ということに関して、まだ十分に、市民の合意形成が出来ていないのではないかとということです。

●森田委員 パブリックコメントがなかったということですか。

●高田学習課長 パブリックコメントも一つの手法でもあるのですが、それ以前に、市が条例改正をして美術館化にします。その場合ですが、例えば、先ほどは申し上げていませんでしたが、美術館の名称ということで安田先生の名前を冠にして名称を付けるだとか、そういう部分について、市民の中にも、色々な考えの方がいらっしゃると思いますので、すんなりと合意されるかどうか、今の時点では、多分に不安があるというようなことから、もう少し市民周知を含め、進めてからではどうかということでございます。

●間島委員 すいません、分からなかったのですが、美術館というと、ひとつの建物があって、それが美術館という感じを持っているのですが、そうではなくて、あそこ全部を総合的なものとして美術館と呼ぶということですか。

●高田生涯学習課長 そうですね。ソフト・ハードを合せて美術館という博物館法という法律がありますが、博物館の1つの形態として、美術館ですとか、水族館ですとか色々あるのですが、美唄市の場合は、博物館法に基づく美術館の機能という形で、博物館登録をしようということで、それは、施設や設備もそうなのですが、そこで行われる内容が全て要件の中に入ってくるということです。

●間島委員 つまり、栄幼稚園部分は除きますということですか。あの建物全部ではなく、1階の部分だけは除きますということですか。

●高田生涯学習課長 美術館としての位置付は、建物全体になるのではないかなというように考えています。その中に、幼稚園機能が一部入っているということになるのではないかと考えております。

●間島委員 道内に7館あると記載されていまして、ほとんどが有名な美術館なのですが、そこを連想するのですよね。なので、全部が美術館ですとか、この部分は美術館ではありませんというのが、ピンと来ない部分がひとつあります。それから、美唄市民で、アルテピアッツァを知らない人とか行ったことがないとか、高齢者の方を含めてかなりの方がいると思います。それともうひとつは、運営のために、「アルテ市民ポポロ」というのを会員制度で作っていますが、それもまだ、きちっと定着

してないような感じがします。初めは 2,000 円とか 3,000 円の賛助金とかでやっていたと思いますが、確か今は、500 円会費だったかと。その定着がまだで、よく分からない部分があると思います。その中で、美術館で先行してしまうのかなと市民意識の中にあります。アルテは市外的には評価の高い施設だし、素晴らしいことも分かってはいますが、それを抱える美唄市民が、どれだけ、このことを理解して守って行き、自分たちもどんどん利用していく部分が、すごく欠けているような感じがするのです。ですから、先ほども言いましたが、ある部分だけが先行していくような部分で、例えば、安田侃さん個人の部分が強いという形で、それだけ集中的に展示していくというわけではないですけども、将来的に安田先生以外の作品は、ここには絶対飾りませんとか、そういう物があつたとしても、排除しますとかってというような、将来的な計画なんかも見えてこない部分が、すごく沢山あるような気がします。また、美術館になったら、こんなに良いことがありますよとか、例えば、補助金がいっぱいもらえるととか、市が負担しなくても、いい部分がどんどんできますよとか、その知的な部分じゃなくて財的な部分を生み出しますよとかいう部分が、まだよく見えてこない気はするのですよね。美術館というより、安田侃芸術の森みたいな広場の方が、ピンとくるような感じがするのですが、その辺も含めて、これから、詰めていくのだらうと思いますけれど。できれば、美唄市民が一生のうちに、一回は行ったことがあるとか、良い所だというような体験をしてもらって、良さを知ってもらう部分も必要なのかなという気がします。

●高田生涯学習課長　今、ご指摘をいただきましたが、今回、会議の中でもそういう部分もございました。確かに、開館 20 年以上経ったといいながらも、市民の中には、まだよく知らないという方も実際にいるのは確かだと思いますし、実際そういう声も、直接聞かされることもあります。20 年かかって、この程度の知名度といいますか、市民の中でも、まだ知らない人がいるような現状の中で、市民合意という部分を、どこまで突き詰めて行けるのかというのはあるのですけども、いずれにしても、アルテピアッツァの今後の位置付けといいますか、以前から美術館化というものを目指して、色んな方が動いてきた経過があるのですが、そういう一つの形態っていうのが、アルテにとってどうなのか、実際に美術館化になることで、例えば、国から経済的に支援があるかということ、それほど期待できるものではありませんが、ただ、箔が付くという言い方が適当かどうか分からないのですけども、そういうことで、看板に美術館っていうのが付くことで、働いているスタッフにとっても、何か誇りを持って、仕事に打ち込めるだとかそういう精神的な部分ですとか、対外的にそういう美術館だからきっと素晴らしいところに違いないというイメージ

を与えるとか、そういう名前にふさわしい活動を、どんどん取り組んで行かなければならないものだというようには考えおります。

●間島委員 5年後に道路が富良野に貫けますが、すると当然、あそこを通らなければいけないので、来てくれる人が増えてくる部分があると思いますが、それと何かを組み合わせ、美唄にもう少しいいもの、例えば、知的なものもありますが、先ほど言った、財的な部分も落として行ってくれるようなことも考えていかないと、維持管理が出来なくなった時に、全部どこが背負おうことになってくると思うのですよね。人が増えても、入館料を取っているわけではないのですから、別に収入が増えるわけではないので、運営するための資金とか、お金の話をするのは申し訳ないのですが、大金をかけて、せっかく作ったものなので、少しは回収できないかなと、ここを通れば、あれも見れるし、こういう物を買って帰れるし、こういうこともできるという部分を、この美術館とプラスしていきながら。今でも、良い音楽とか色んなイベントをやっていますが、たぶん特定の人しか行っていないのだろうと思うので、そうではなくて、本当に、子どもからお年寄りまで、みんなが集えるような部分で、そこへ行ったら、美味しい物が食べれるとか 良い自然も見れるとか、珍しい物も置いてあるとかいう部分が、詰めていく中に入っていくと、将来はなかなか見通せないような気がします。

●伊藤教育部長 今、色々ご意見いただきました。ご心配な点、多々あろうかと思えますし、庁内の企画推進会議の際にも、もう少し市民合意を得る手続きを時間をかけて決めた方がいいというような意見で再検討することになりましたけれども、アルテピアッツァに対する市民のみなさんの認知度、あるいは美術館というものに対するイメージっていうのは、人それぞれ、かなりの違いがあるのではないかと思います。美術館と一口に言っても、施設の小さなものから、県立のもの、国立のもの、大きなものもあれば、たくさんの種類があるので、一口に美術館と言っても、色んなイメージあろうかと思えます。美唄市全体で、これからの交流人口を増やして行くうえで、アルテピアッツァがどういう位置付にあるのが、一番望ましいのかというところも、一人一人、ご意見が違うかと思えますし、アルテピアッツァ単独で、全てのことが解決できるわけではありませんので、交流、連携というところも重要なかなというように思っています。美術館化に向けての一つのキーワードは、我々は交流というところがキーワードかなと思っておりますので、ただ、人がたくさん来るというだけではなくて、文化的な交流が、やっぱり定期的にあるべきだろう、その中で、子供たちへの美術教育みたいなのところも、学芸員を置くところで充実させていくことが、今後、求められていくところではないかと思っています。色んな

ことを、これから考えなければいけませんので、頂いたご意見を含めて、再度、練り直してみたいと思っています。

●高橋委員長 ほか、質問、意見等ございませんか。

あまり急ぐことはないですよ。急がなくてはだめなのですか。

●伊藤教育部長 特に急がなければならないということはないのですが、作家からの意向もありますので、早くできるものであれば、早く進めたいと思っています。

●高橋委員長 あと何か、質問、ご意見ありますでしょうか。

●齋藤委員 要望なのですが、美術館化になることによって、先ほども言いましたが、来館者が増えるといったことで、幼稚園さんの意見もしっかり聞き入れた中で、進めていただきたいなと思います。学校訪問で幼稚園の訪問させていただくと、ここから人が来るのが何とかならないかとか、ここをどうにかしたいなという意見がありますが、それが聞き入れられないというのを、毎回、聞かされるものですから、今回、美術館化にすることによって、再度、そのあたりを詰めて頂きたいなと思います。

●伊藤教育部長 幼稚園の管理上の問題が色々出されてきていまして、解決できるものと、すぐには解決できないものとあるかと思いますが、幼稚園教育振興計画というのを、昨年作りましたけれども、子供たちの数が少なくなる中で、公立幼稚園、今、一園となっております。これをどうしていくかということが、大きな課題となると思います。1 つは、認定こども園という形が考えられて、これは今、南美唄地区で実現していますけども、幼稚園と保育所を一緒にして運営していますが、その短時間保育と長時間保育と分かれていますけども、子供たちの中では、特に支障なく運営していると思います。今後、子供たちの数が更に少なくなっていく中で、親の勤務形態によって、施設が別々になっていくことがいいのかどうかということも含めて、今、検討を進めているところであります。その中では、公立の保育所が来年4月、3園統合になりますので、その動きを見ながら検討していきたいなと思っています。

●森田委員 1 つの案の中には、栄幼稚園自体を、あそこから撤退するというか場所を変えるということもあり得るということですか。

●伊藤教育部長 そうですね。

●高橋委員長 よろしいでしょうか。なければ、その他1 アルテピアッツァ美唄の美術館化については、終わります。あと、その他何かありますでしょうか。

●阿部学務課長 私の方から1点だけあります。前回の教育委員会議におきまして、美唄市学校教育施設整備基金条例制定の件について、条例案を結実して頂いたとこ

ろでございます。今回、旧西美唄小学校の売買契約締結が当初予定していたよりも遅れておりまして、本日、8月24日、契約が行われたところでございます。条例の制定と補正予算案の提出が、9月の第3回定例会を予定しておりましたけれども、契約締結の事務が遅れたことに伴いまして、12月の第4回市議会定例会の方で、提案させて頂くこととなりましたのでご報告をさせていただきます。契約が遅くなった主な理由といたしましては、契約相手が、最初、親会社の央幸設備株式会社という事で、ご説明したかと思いますが、実際には、事業を直接行う株式会社北海道霊芝というところが変わったことや、北海道に提出する事業計画を一部変更したため、事務手続きの時間を要したということで、担当の経済部からは聞いているところでございます。なお、12月議会に提案する条例案、基金に積み立てる金額等の変更はございません。提案時期が、1つ遅れるという事になりました。以上、報告いたします。

●高橋委員長 ほか、何かありますか。

●伊藤教育部長 事務局からはありません。

●高橋委員長 委員の方から何かありますでしょうか。なければ、これをもちまして、平成27年第11回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ご苦労様でした。

16:45 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 新田 せうた

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 7 月 24 日

至 平成 27 年 8 月 23 日

区 分	会 議 等	
7月24日	第 10 回教育委員会議	教育委員室
24日	第 1 回教育支援委員会	大会議室A
29日	歯と口のコンクール審査会	教育委員室
8月 1日	平成 27 年度地域安全パレード	市役所前庭
4日	平成 27 年度美唄市校長会・教頭会教育講演会	中央小学校
5日	空知校長会主催「教育懇談会」	ホテルサンプラザ(岩見沢市)
5日	子ども会対抗球技大会(～6 日)	総合体育館/市営野球場
10日	平成 27 年度美唄市学校給食衛生講習会	ピパオイの里プラザ
11日	ピアトレーナー養成ワークショップ in 美唄	市民会館
20日	いじめ問題審議会	教育委員室
21日	美唄市高校問題等対策協議会	市長会議室

上記のとおり報告する。

平成 27 年 8 月 24 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

7 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
24	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
25	土	美唄サテライト・キャンパス「健康なからだを捉えなおす」①②	9:00	大会議室	市民
		子ども映画上映会	10:00 13:30	郷土史料館	市民
26	日				
27	月				
28	火				
29	水	キッズ・アスリートスクール⑦	10:00	温水プール	市民
30	木	キッズ・アスリートスクール⑧	10:00	温水プール	市民
31	金				

8 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	土	特別展「炭鉱の変遷と人びとの暮らし」(～30日)	9:00	郷土史料館	市民
		平和図書コーナー開設 (～14日)	10:00	図書館 ロビー	市民
		夏休み子ども映画会	10:00 13:30	郷土史料館	市民
		美唄サテライト・キャンパス「健康なからだを捉えなおす」③④	9:00	大会議室	市民
2	日				
3	月				
4	火				
5	水	子ども会対抗球技大会 (～6日)	8:30	総合体育館/市営野球場	市民
6	木	ブックスタート (7か月児)	13:00	保健センター	市民
7	金				
8	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
		夏休み子ども映画会	10:00 13:30	郷土史料館	市民
9	日	映画「ジョバンニの島」上映会	9:30 15:00	市民会館	市民
10	月	美唄サテライト・キャンパス「音楽交流によるまちづくり (ふれあいコンサート)」	10:15	進徳・双葉保育園、ゆ～りん館	市民
11	火	美唄サテライト・キャンパス「音楽交流によるまちづくり (ふれあいコンサート)」	11:15	峰延保育所、アルテアートスペース	市民
12	水	キッズ・アートスクール	8:00	札幌大谷大学	市民
13	木				
14	金				
15	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
		夏休み子ども映画会	10:00 13:30	郷土史料館	市民
16	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
17	月				
18	火	特別整理期間 (蔵書点検) のため休館 (～23日)		図書館	
19	水	キッズ・アスリートスクール⑨	17:00	総合体育館	市民
20	木	第5回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
		美唄サテライト・キャンパス「オオタニアートキャラバンin美唄成果発表展」(～25日)	10:00	コアビバイ	関係者
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
21	金	美唄サテライト・キャンパス「札幌国際大学卓球部による合宿調査研究事業」(～22日)		総合体育館	関係者
22	土	第1回美唄キッズ漢字検定	9:15	市民会館大会議室	市民
23	日				

9 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	火				
2	水	手織&着物リメイク展（～13日）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
		市民カレッジ②	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
3	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
4	金	キッズ・ダンス教室①	16:00	市民会館	生涯学習課
5	土				
6	日				
7	月	キッズ・アスリートスクール⑪	17:00	中央小学校	生涯学習課
8	火				
9	水	市民カレッジ③	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
10	木				
11	金	キッズ・ダンス教室②	16:00	市民会館	生涯学習課
12	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	いん石落下90年特別企画展「光珠内いん石と南極いん石」（～10/15）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
17	木	第6回定例校長会議	9:30	市長会議室	指導室
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
18	金	キッズ・ダンス教室③	16:00	市民会館	生涯学習課
19	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
20	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
21	月				
22	火				
23	水	第24回ピパオイヘルシーロードレース	9:15	総合体育館	生涯学習課
		特別展体験講座「いん石にさわろう！」	13:00	郷土史料館	生涯学習課
		特別展講演会「南極いん石と日本の南極観測」	14:00	郷土史料館	生涯学習課
24	木	第6回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	指導室
25	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
26	土	美唄サテライト・キャンパス「楽しい油彩画」	9:30	札幌大谷大学	生涯学習課
27	日				
28	月				
29	火				
30	水	市民カレッジ④	8:30	市外研修	生涯学習課
		キッズ・アスリートスクール⑫	17:00	総合体育館	生涯学習課

【生涯学習課】

街頭指導 3日(木) 9日(水)
 街頭指導(中高一斉) 18日(金)
 列車添乗 30日(水)
 生徒指導交流会 15日(火)
 空知神社秋季祭典指導 10日(木)～12日(土)

【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

・講座～産業系人材養成講座 1講座3回、まちづくりを担う人材養成講座1講座2回
 市民教養講座1講座1回